

ふりがな 氏 名	まつもと あすか 松本 明日香	職 名	講師
取得学位	博士（心理学）・愛知淑徳大学大学院心理医療科学研究科		
学 歴	愛知淑徳大学大学院心理医療科学研究科博士後期課程修了		
所属学会	日本心理学会，日本社会心理学会，日本教育心理学会，東海心理学会，教育工学会		

教 育 活 動	
(主な担当科目)	
2025 年：(学部) 社会・集団・家族心理学 A (社会・集団)，実験社会心理学演習，産業・組織心理学，心理学研究法，心理学実験，心理学統計法，応用心理学，社会・集団・家族心理学 B (家族)，専門演習 I A，I B，II A，II B，基礎ゼミナール I	
2025 年：(学部) 社会・集団・家族心理学 A (社会・集団)，実験社会心理学演習，産業・組織心理学，心理学研究法，心理学実験，心理学統計法，応用心理学，社会・集団・家族心理学 B (家族)，専門演習 I A，I B，II A，II B，基礎ゼミナール I	
2024 年：(学部) 実験社会心理学演習，心理学実験，応用心理学，専門演習 I B，心理学統計法	
(他大学) 心理学研究法総合演習，日本語表現 1，日本語表現 2，ケーススタディ交流 5 (調査)	
2023 年：(他大学) 心理学研究法総合演習，入門心理学，健康科学統計演習，日本語表現 1，日本語表現 2，日本語表現 3	
2022 年：(他大学) 心理学研究法総合演習，入門心理学，健康科学統計演習，日本語表現 1，日本語表現 2	
2021 年：(他大学) 心理学研究法総合演習，入門心理学，健康科学統計演習，心理学，日本語表現 1，日本語表現 2	

研 究 活 動	
(論文等)	
・全国学力・学習状況調査における児童質問紙調査の再分析—非認知能力に焦点化した検討— パーソナリティ研究, 34, 299-314 2026/3 共著者：吉澤寛之，谷伊織，杉本英晴，寺尾香那子，田村知子	
・専攻学問に対する価値と職業志向性および大学生活充実度との関連 東海心理学研究, 16, 27-37. 2023/5 共著者：小川一美	
・社会的スキル・トレーニングによるスキルの変化とトレーニングへの評価の関連 パーソナリティ研究, 30, 39-41 2021/5 共著者：太幡直也，小川一美	
・初年次文章表現科目におけるオンライン授業の試み (1)：2020 年度前期「日本語表現 T1」の実践と課題 愛知淑徳大学初年次教育年報, 6, 8-11. 2021/5 共著者：外山敦子，小林珠子，近藤さやか，辻本桜子，松原久子	
・初年次文章表現科目におけるオンライン授業の試み (2)：2020 年度後期「日本語表現 T2」の実践と課題 愛知淑徳大学初年次教育年報, 6, 12-16. 2021/5 共著者：外山敦子，小林珠子，近藤さやか，辻本桜子，松原久子	



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・全国学力・学習状況調査の学校質問紙の開発 ―新規の測定領域の探索的検討― 大阪教育大学紀要 総合教育科学, 23, 1-8. 2021/2 共著者：田村知子, 根津朋実, 谷伊織, 杉本英晴, 辰巳哲子, 寺尾香那子, 鎌田首治朗, 吉澤寛之
(研究発表等)
- ・課題価値と文章作成方略および批判的思考との関連―初年次学生のアカデミックライティングに関する授業への課題価値と期待に着目して― 日本社会心理学会大 66 回大会 2025/9
- ・全国学力・学習状況調査における質問紙調査の再分析 (15) ―平成 27 年度児童質問紙データを用いた因子構造の検討― 日本心理学会第 88 回大会 2024/9
- ・日本語表現科目講義達成度と自由記述内容の質の関連 2―2022,2023 年度「日本語表現 1」「日本語表現 2」の講義および年度差に着目して― 2023 年度初年次教育部門教育実践・研究発表会 2024/3
- ・日本語表現科目講義達成度と自由記述内容の質の関連 ―2021 年度「日本語表現 T1」「日本語表現 T2」の活用・定着と成績に着目して― 2021 年度初年次教育部門教育実践・研究発表会 2022/3

社 会 活 動

- ・ 2023 年 4 月～ 日本社会心理学会 大会運営委員会 幹事



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY